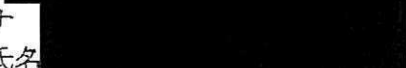


岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成 27年 3月 2日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ツクリヤマコブンソセイカイ
団体名 造山古墳蘇生会
所在地 
連絡先 
フリガナ
代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	造山古墳を活かしたふるさとづくり
事業実施区域(小学校区)	造山古墳とその周辺 (加茂学区)
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 2 回目 (平成 26 年度から)
事業の目的	※解決をはかりたい地域課題等について記載してください。 ①全国屈指の文化遺産でありながら地域の認識が低い「造山古墳」を世に広め、見学者を増やし、学区の知名度を高める。 ②少子高齢化が進み、話題性の乏しい地域に話題を提供し、地域の活性化に繋げる。 ③次代の担い手である子どもたちに「造山古墳」の偉大さを語り継ぎ、世代間交流を通じ、自慢でき、誇れる地域であることを学ばせる。
事業の必要性	①高度経済成長期の都会志向や核家族化そして市町村合併等も起因し、多くの伝統文化・風習・言い伝え等、先人から継承されることなく忘れ去られたものは多い。その結果、生まれ育った「ふるさと」に対する理解や愛着心が希薄化している現状がある。その土地の人がその土地の言葉でその土地の古代文化遺産や歴史を語り継ぎ、地域に対する理解を深めさせ、ロマンを感じさせ、「ふるさと」の自慢や誇り意識を芽生えさせ、尊崇の念に目覚めさせ、人間形成の上で最も重要な郷土愛を醸成させることが肝要。青少年の健全育成上も極めて重要と考える。 ②全国有数の造山古墳を学区のシンボルに蘇生させることで、歴史的に裏打ちされたこの地に生まれ、育ち、そして生きてきたことに自信と誇りを持ち、話題豊富で活気にあふれる地域づくりの実現のため。 ③高齢化率の高い学区として、高齢者の豊富な知識や経験を活かしながら、更に生涯学習に意欲的に取り組む生きがいづくりの機会提供が必要である。

事業の内容	①ボランティアガイド自主勉強会・研修会・講演会等の開催 ②地域イベントへ参加 ③校外学習のガイド協力（一般見学者も対応） ④ガイドマップ・案内パンフレット冊子の制作と提供 ⑤古墳及び周辺の清掃奉仕活動
期待される成果	①ボランティアガイドの知識向上はもとより、研修会・講演会等では一般も多数の参加が期待でき、郷土の歴史や文化財に関心が高まる。 ②造山古墳の価値を広めることで地域話題が増し、盛り上がる。 ③ガイドの詳しい説明で、造山古墳への理解が深まり社会科学習に興味を持つようになる。 ④見学者の満足度アップ ⑤見学ルートの安全・美観確保で地域住民の意識向上
企画などの工夫	①著名な講師を招請し、講演会（名称：鴨屋塾）開催 ②他府県の文化財や観光行政視察及び現地ボランティアガイドと交流しスキルアップを図る。 ③岡山市教育委員会の協力を得て、地域に出土物の展示と市教委担当者の説明を聞かせる。 ④「現地を見、ガイドの説明を聞き、教室に帰って復習」の学習支援の為、教材用にガイドマップや冊子を提供している。
事業の情報公開	①加茂学区連合町内会ホームページ「造山古墳蘇生会」頁にアップ ②岡山市立高松公民館「まつかぜ」掲載 ③その他、新聞・TV等
次年度以降の予定	毎年、ほぼ同じ内容の継続となるが、4年毎に「古墳まつり」を開催しており、第3回「古墳まつり」は2017年の開催予定となる。千足装飾古墳の2018年度内整備完了に合わせ、2019年には臨時の「古墳まつり」開催も視野に入れるが、いずれも財源の見込み次第。
その他PRしたい点	※小学校区より小規模（単位町内会等）で実施の場合は、広がりについても記入してください。 ①蘇生会の活動は多岐にわたっている。 （清掃奉仕活動からボランティアガイドガイドによる出前講座まで） ②蘇生会にはボランティアガイド組織があり、予約制で無料案内できる。 ③蘇生会主催・岡山市立高松公民館共催の講座がある。 ・ボランティアガイド養成講座 ・「鴨屋塾」 ④4年毎に「古墳まつり」を開催

事業スケジュール

[illegible]